

選 手 注 意 事 項

本大会は、２０２５年度(財)日本陸上競技連盟競技規則と申し合わせ事項によって行う。

1. 練習について

(1) 練習は、係員の指示に従って行うこと。

(2) 練習場所について

アップについては、定められた場所（バックストレート、補助グラウンド）をゆずり合って、安全面に注意して使用すること。

周回競技を行っていないときはバックストレートを使用してもよい。ただし**逆走やミニハードル等の器具を使用して行うアップは禁止**する。(周回競技開始５分前まで可能)

※棒高跳びの準備・競技中は競技に支障がないように係員の指示に従うこと。

(3) 投てき物の使用は安全な場所がないため行わないこと。(公式練習のみとする)

2. 招集について

(1) トラック競技は招集所にて行う。フィールド競技は招集所で自分の名前にチェックをつけ、その後、現地で招集を行う。

(2) 招集開始および完了時刻は、下記の通りである。

	招 集 開 始 時 刻	招 集 完 了 時 刻
トラック	競 技 開 始 ３ ０ 分 前	競 技 開 始 ２ ０ 分 前
フィールド	競 技 開 始 ４ ０ 分 前	競 技 開 始 ３ ０ 分 前

(3) 招集では係員による最終点呼を受ける。その際、競技者係にユニフォームのナンバーカードとスパイクシューズを見せ、確認を受けた後、競技者係の誘導で競技場に入る。

２種目以上（例えばトラック競技とフィールド競技）を同時刻にかねて出場する選手は、あらかじめ２種目同時出場届を競技者係に提出する。その際、役員の指示をよく聞き、指示に従って行動すること。(トラック競技優先とする)

(4) 招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

(5) 選手の欠場については、大会の権威と運営の円滑さを期すため極力さけること。(やむを得ず欠場するときは、欠場届を招集開始時刻の３０分前までに提出すること。)

3. 競技場への入退場について

(1) 入退場は競技役員の指示に従って整然と行う。

(2) 競技を行う選手以外は、トラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合は、当該選手の競技を認めない場合がある。

4. 競技について

- (1) セパレートレーンにおいては、フィニッシュライン通過後、自分のレーン（曲走路）を走り、他走者の妨害をしないこと。
- (2) フィールド選手の退場については、当該競技役員ならびにマーシャルの指示に従う。
- (3) 不正スタート1回で失格とする。ただし、4種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
- (4) スパイクシューズのピンは、全天候舗装のトラックであるので、7mm以下とする。ただし、走高跳は、9mm以下とする。（2段平行ピンまたは平行柱ピンとする）
- (5) トラック競技の決勝については、主催者側で公平に組み合わせの上、走路順を記録掲示板・招集所に掲示する。
- (6) 予選におけるトラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムの記載通りとする。
- (7) ナンバーカードは、切ったり、曲げたり、また、いかなる方法でも隠してはならない。
- (8) 走幅跳については、計測ラインを設けることがある。
- (9) 小学生の100mについては、予選ではスターティングブロックを使わない。

5. バーの上げ方について

走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、当日発表する。

6. 用器具について

用器具の使用については、原則競技場備え付けの物を使用する。（棒高跳のポールを除く）

持ち込みを希望する際は招集開始1時間前までに本部まで申し出て検査を受け、合格したものを使用する。

7. 表彰について

小学生は各種目8位まで、中学生は各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。

8. その他

- (1) 発病、負傷に対して応急処置以外の責任は負わない。
- (2) 貴重品の管理は各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (3) 記録の証明を希望する選手は、本部庶務係の受付に用意した記録証交付願に300円添えて申し込むこと。
- (4) 当日の記録は、東側スタンド裏の記録掲示板に掲示する。